

授業科目	遺伝カウンセラーコミュニケーション 概論				科目区分	GMP コース必須科目	
担当教員	(世話人) 田浦 裕三子				単位数	2 単位	
授業概要	本講義では、コミュニケーションという観点から、遺伝カウンセリングの重要なテーマについて、学生自身が主体となってディスカッションを行い、互いの価値観を共有し、学びを深めていく。遺伝カウンセラーとして、クライアント・家族の支援のためのコミュニケーションはもちろんのこと、チーム医療の一員として、異なった専門性をもつチームメンバーとのコミュニケーションのあり方についても学ぶ。						
全体の教育目標	遺伝カウンセラーとして必要なコミュニケーションスキルや態度について理解する。						
個別の学習目標	遺伝カウンセラーとして、クライアント・家族への継続的支援やチーム医療の一員として必要なコミュニケーションスキルを身につける。						
授業計画	回	月日	曜日	時限	授業内容	担当教員	講義室
	1	4/14	火	2	遺伝カウンセラーのコミュニケーション	松崎・石川	1 日目
	2	4/21	火	2	遺伝カウンセラーの基本的態度	松崎・石川	2 日目
	3	4/28	火	2	共感的理解	松崎・石川	3 日目
	4	5/12	火	2	ラポール形成	松崎・石川	4 日目
	5	5/19	火	2	ノンバーバルコミュニケーション	松崎・石川	5 日目
	6	5/26	火	2	臨床遺伝専門医と共に	松崎・石川	7 日目
	7	6/2	火	2	情報提供	松崎・石川	8 日目
	8	6/9	火	2	意思決定支援	松崎・石川	9 日目
	9	6/16	火	2	喪失体験	松崎・石川	11 日目
	10	6/23	火	2	家族面接	松崎・石川	13 日目
	11	6/30	火	2	ライフステージ・メンタルヘルス・防衛機制の基本的考え	松崎・石川	12 日目 17 日目

	12	7/7	火	2	障害と社会の理解	松崎・石川	16日目
	13	7/14	火	2	遺伝性疾患と共に生きると いうこと	松崎・石川	18日目
	14	7/21	火	2	当事者団体と関係機関との 連携	松崎・石川	実践5日目
	15	7/28	火	2	発症前診断	松崎・石川	実践9日目
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝カウンセリングのためのコミュニケーション論-京都大学大学院医学研究科遺伝カウンセラーコース講義 (メディカルドゥ, ISBN: 978-4944157662)</li> </ul>						
参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん医療におけるコミュニケーション・スキル 内富 庸介 (医学書院, ISBN: 978-4260005227)</li> <li>行動変容を促すヘルス・コミュニケーション: 根拠に基づく健康情報の伝え方 C.エイブラハム (北大路書房, ISBN: 978-4762830341)</li> <li>がん医療における患者-医療者間のコミュニケーションガイドライン 2022年版 (日本サイコオンコロジー学会/日本がんサポーターブケア学会, ISBN: 978-4-307-10205-6)</li> </ul>						
成績評価の方法	事前準備 40%、授業での参加態度 60%						
その他	世話人連絡先 田浦 裕三子 (Email: taura.yumiko.312@m.kyushu-u.ac.jp) 担当連絡先 松崎 佐和子 (Email: matsuzaki.sawako.775@m.kyushu-u.ac.jp)						